

令和 6 年群馬県移動人口調査結果（年報）
（令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月）

移動人口調査は、5 年に一度の国勢調査の結果を基に、住民基本台帳法に基づく毎月の移動数（出生、死亡、転入、転出）等を加減して算出しています。

この年報は、令和 2 年の国勢調査の結果を基とし、令和 5 年 10 月から令和 6 年 9 月までの移動人口調査における移動数等をまとめたものです。

1 群馬県の概況**（1）人口と世帯（令和 6 年 10 月 1 日時点）**

- ・人口は 1,889,425 人。（前年比で△11,415 人、人口増減率△0.60%）
- ・世帯数は 833,154 世帯。（前年比で 9,271 世帯増）

（2）自然増減

- ・出生 10,107 人、死亡 27,290 人で、自然増減数は△17,183 人となった。
- ・自然増減率は△0.90%で、前年（△0.86%）より減少幅が拡大した。

（3）社会増減

- ・県外からの転入者は 46,758 人、県外への転出者は 44,212 人で、これに職権処理による増 3,222 人を含めると、社会増減数は 5,768 人となった。
- ・社会増減率は 0.30%で、前年の 0.21%から増加した。
- ・社会増減のうち、外国人の転出入は 5,393 人の転入超過となった（前年は 5,263 人の転入超過）。

2 市町村の概況**（1）人口（令和 6 年 10 月 1 日時点）**

上位市町村は高崎市 367,101 人、前橋市 326,271 人、太田市 221,652 人、伊勢崎市 210,618 人、桐生市 99,224 人となっており、この 5 市で県人口の 64.8%を占めている。

（2）人口増減率

増加は大泉町、吉岡町、太田市、嬬恋村及び草津町の 5 市町村で、大泉町（0.37%）の増加率が最も高くなっている。他の 30 市町村は減少しており、南牧村（△5.99%）の人口減少率が最も高くなっている。

（3）自然増減と社会増減

- ・全 35 市町村で自然減少となっている。減少数が最も少ないのは上野村の△12 人、最も多いのは前橋市の△2,756 人。
- ・社会増加数が最も多いのは前橋市の 2,123 人、一方で社会減少数が最も多いのは沼田市の△295 人となっている。
- ・外国人の社会増加数が多いのは、太田市 1,736 人、大泉町 871 人、伊勢崎市 642 人の順で、この 3 市町で増加分の 60.2%を占めている。
（外国人の県内移動及び職権による記載・消除等は含まれていない。）